

2019年10月19日～2019年10月25日

2019年10月28日

先週の回顧

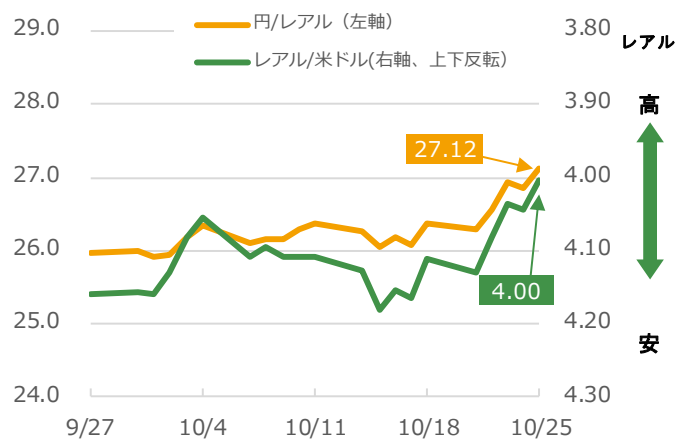
ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。

10月22日（現地）に年金改革法案の第二回上院投票が実施され、賛成60票、反対19票で承認されました。承認された法案の歳出削減規模は10年間で8,000億レアルと当初案の1兆2,000億レアルからは縮小しましたが、それでも十分な規模の内容であると考えられます。金融市場においても法案承認を好感し、ブラジル・レアル高、金利低下となりました。

経済指標に関しては、10月のIPCA-15インフレ率が発表され、前月・前年比ともに市場予想を小幅に上回りました。

ブラジル・レアル 為替推移

(2019年9月27日～2019年10月25日)
 (円/レアル) (レアル/米ドル)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

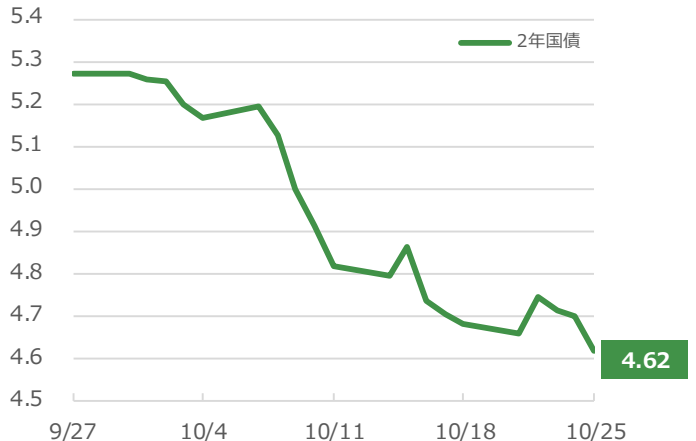
今週の見通し

今週は鉱工業生産や製造業PMI（購買担当者指数）などの経済指標の発表が予定されています。また、ブラジル中央銀行からは政策金利の発表が予定されており、市場では政策金利の引き下げが予想されています。

年金改革法案の承認を市場は評価していますが、ブラジル経済を好転させるにはさらなる改革が必要との見方が多く見られます。今週はゲデス経済相から財政改革法案が発表される予定となっており、まずはその内容に市場の注目が集まりそうです。

ブラジル 金利推移

(2019年9月27日～2019年10月25日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。